

1. 香川県環境保全基金の残高等

|   |                |            | 金額（単位：円）    | 備 考                |
|---|----------------|------------|-------------|--------------------|
| ① | 基金総額（前年度末基金残高） |            | 143,692,649 | 内訳額の四捨五入により金額に誤差あり |
|   | 内 訳            | うち、国費相当額   | 71,846,324  |                    |
|   |                | うち、地方負担相当額 | 71,846,325  |                    |
|   |                | うち、負担附寄附金等 | 0           |                    |
| ② | 基金運用益          |            | 1,260,128   | R7年度事業に直充          |
| ③ | その他収入          |            | 0           |                    |
| ④ | 負担附寄附金等        |            | 0           |                    |
| ⑤ | 返納額            |            | 0           |                    |
| ⑥ | 基金執行額（処分額）     |            | 25,491,311  | 内訳は下表のとおり          |
| ⑦ | 基金残高           |            | 118,201,338 | (=①+③+④-⑤-⑥)       |
|   | 内 訳            | うち、国費相当額   | 59,100,669  |                    |
|   |                | うち、地方負担相当額 | 59,100,669  |                    |
|   |                | うち、負担附寄附金等 | 0           |                    |

2. 保有割合

| 次年度の基金類型 | 取崩型                  | 金額（単位：円）    | 備 考     |
|----------|----------------------|-------------|---------|
| ⑧        | 基金残高                 | 118,201,338 |         |
| ⑨        | 事業費（次年度から終了年度までの見込額） | 63,956,000  |         |
| ⑩        | 保有割合                 | 1.848       | = (⑧/⑨) |

保有割合の算定根拠

運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）

取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

3. 国庫補助金相当額の国庫返還の可否（運用型はすべて、取崩型は2. 保有割合が1 以上の場合に限る。）

|   |                              |                                |
|---|------------------------------|--------------------------------|
| ⑪ | 使用見込額を上回る資金の国庫補助金相当額の国庫返還の可否 | 否                              |
| ⑫ | 返還可能額                        | -                              |
| ⑬ | 返還時期                         | -                              |
| ⑭ | 返還が困難である理由                   | 当該基金を活用した新規事業を実施する可能性が見込まれるため。 |

4. 事業一覧

| 番号  | 事業名                  | 合計         | 事業費       |            | 備考                     | 達成度   | 事業費<br>（次年度） | 事業費<br>（終了まで） |
|-----|----------------------|------------|-----------|------------|------------------------|-------|--------------|---------------|
|     |                      |            | 一般財源等     | 基金充当額      |                        |       |              |               |
| 1   | 循環型社会づくり推進等事業        | 1,431,293  | 0         | 1,431,293  |                        | 98%   | 3,000,000    | 6,150,000     |
| 2   | どんぐり銀行活性化事業          | 1,610,292  | 0         | 1,610,292  |                        | 71%   | 1,676,000    | 3,352,000     |
| 3   | 里海づくり推進事業            | 5,923,656  | 684,703   | 5,238,953  |                        | 91%   | 5,500,000    | 11,000,000    |
| 4   | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 12,929,627 | 120,317   | 12,809,310 |                        | 91%他  | 16,407,000   | 35,214,000    |
| 5   | 森とみどりの祭典開催事業         | 5,215,346  | 4,442,557 | 772,789    |                        | 68%   | 1,720,000    | 3,440,000     |
| 6   | 学校における環境学習推進事業       | 462,692    | 462,692   | 0          | 一般財源等に基金運用益462,692円を含む | 81%   | 0            | 0             |
| 7   | 地球温暖化対策事業            | 3,628,674  | 0         | 3,628,674  |                        | 100%他 | 2,400,000    | 4,800,000     |
| 8   | 省エネ県民運動促進事業          | 993,300    | 993,300   | 0          | 一般財源等に基金運用益797,436円を含む | 80%   | 0            | 0             |
| 9   |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 10  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 11  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 12  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 13  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 14  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 15  |                      | 0          |           |            |                        |       |              |               |
| 合 計 |                      | 32,194,880 | 6,703,569 | 25,491,311 |                        |       | 30,703,000   | 63,956,000    |

4. 基金事業の目標に対する達成度

|       |                                                                                        |  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 成果指標  | 香川県の環境を守り育てる人づくりを推進するため、環境教育・環境学習参加者数について、2018年度から2027年度までの10年間で累計250,000人の参加者を達成していく。 |  |
| 成果実績  | 197,485人                                                                               |  |
| 目 標 値 | 250,000人                                                                               |  |
| 達 成 度 | 79%                                                                                    |  |

令和 7 年度 事業報告書

|      |                   |         |         |
|------|-------------------|---------|---------|
| 事業名  | 循環型社会づくり推進等事業     | 新規・継続区分 | 継続      |
| 事項名  | 食品ロス・プラスチック削減推進事業 | 開始年度    | 令和 5 年度 |
| 担当部署 | 環境森林部循環型社会推進課     | 終了年度    | 令和 9 年度 |

1. 目的及び目標（値）

○食品ロス削減  
食品ロス削減推進法と「香川県食品ロス削減推進計画」に基づき、消費者や事業者、行政、関係団体等が連携し、国民運動として食品ロスの削減に取り組むことで、食品ロスの削減を推進する。

○プラスチックごみ対策  
国際的な課題となっているプラスチックごみの削減に向け、繰り返し使える容器の使用や代替素材への転換などに取り組む事業者を支援するとともに、事業者の取組みを広く紹介することにより、他の事業者における取組みの促進や県民の意識向上を図る。

<目標値>（令和 9 年度）  
かがわ食品ロス削減協力店制度・かがわプラスチック・スマートショップ認定制度登録店舗数合計 900店舗以上

2. 概要

食品ロス削減やプラスチックの 3 R に向け、県民及び事業者等の意識向上を図るための各種取組みを行う。

3. 根拠法令等

食品ロスの削減の推進に関する法律（食品ロス削減推進法）  
循環型社会形成推進基本法  
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック資源循環促進法）  
香川県廃棄物処理計画  
香川県食品ロス削減推進計画

4. 実施内容等

(1) 各種店舗認定・登録制度  
「かがわ食品ロス削減協力店制度」「かがわプラスチック・スマートショップ認定制度」により、店舗を認定・登録し、その取組みを広く周知することにより県民及び事業者の意識啓発を図った。

(2) 表彰事業  
食品ロス削減やプラスチックの 3 R に対する顕著な取組みを行っている企業・団体等を表彰した。また、一般家庭での取組みを公募し、優れた取組みを表彰した。

(3) スマート・フードドライブ等普及啓発事業  
出前講座やフードドライブ、事業者との連携キャンペーンを開催し、県民への普及啓発を図った。

○出前イベントの開催  
市町や企業などと連携して、啓発イベントに出展した。

○出前講座  
学校や地域コミュニティなどで食品ロスの削減やプラスチックの 3 R に関する出前講座を実施した。

○フードドライブ  
県主催イベントでの実施や学校・団体などで実施するフードドライブに必要な資材などの支援を行った。

○事業者連携キャンペーン  
「かがわ食品ロス削減協力店制度」・「かがわプラスチック・スマートショップ」に認定・登録した店舗等と共同で消費者に対する普及啓発キャンペーンを実施した。

(4) 香川県食品ロス削減推進協議会の運営（協議会の意見を踏まえて食品ロス削減に関する各種事業を実施）

## 令和7年度 事業報告書

|      |               |         |        |
|------|---------------|---------|--------|
| 事業名  | どんぐり銀行活性化事業   | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | どんぐり銀行活性化事業   | 開始年度    | 平成28年度 |
| 担当部署 | 環境森林部森林・林業政策課 | 終了年度    | 令和9年度  |

## 1. 目的及び目標（値）

平成29年11月19日に本県で開催された全国育樹祭を契機に、「どんぐり銀行」を活性化し、子どもたちを中心に預金者の増加を図り、どんぐり銀行活動をはじめ、森林の大切さを普及啓発することにより、県民参加の森づくりの機運を高める。

香川県みどりの基本計画（R8～R12）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年※を目標とする。

※H29～R2「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

※R3～R7「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標。

※R8～R12「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

## 2. 概要

どんぐり銀行の払戻し内容を拡充し、預金者が多様で魅力的なサービスを手に入れられるようにするとともに、どんぐり銀行にドングリを預け入れようとする者に対し、その機会を増やす等利便性を高めるため、一時的な仮設の手続き場所として、どんぐり銀行の臨時支店を開設する。

## 3. 根拠法令等

香川県みどりの基本計画

## 4. 実施内容等

## (1) どんぐり銀行臨時支店開設等業務

どんぐり銀行に、ドングリを預け入れようとする者に対し、その機会を増やす等利便性を高めるため、NPO法人どんぐりネットワークへどんぐり銀行臨時支店の開設を委託し、17回開設した。受付件数は689件、預け入れられたドングリは127,440個であった。

## (2) どんぐり銀行活性化運営事業

県民に対してよりどんぐり銀行の活動を知ってもらうため情報誌等を発行し図書館などに設置した。

## 令和7年度 事業報告書

|      |             |         |        |
|------|-------------|---------|--------|
| 事業名  | 里海づくり推進事業   | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | かがわ里海大学運営事業 | 開始年度    | 平成28年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境管理課  | 終了年度    | 令和9年度  |

## 1. 目的及び目標（値）

「かがわ『里海』づくりビジョン」に示す「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指して、県民の里海への理解を深めるとともに、里海づくりを牽引する人材(自主的に活動する人、教える人など)の育成を行う。

これにより、県民に対し地域の環境保全に関する知識の普及に努めるとともに、育成された人材が、地域の環境保全活動のリーダー等として活躍することで、県全域で活動が活性化することを目的とする。

|             |              |   |        |
|-------------|--------------|---|--------|
| かがわ里海大学修了者数 | 平成28年度～令和2年度 | 計 | 900人   |
|             | 令和3年度～令和7年度  | 計 | 3,000人 |
|             | 令和8年度～令和9年度  | 計 | 1,270人 |
|             | 総計           | 計 | 5,170人 |

## 2. 概要

香川大学等と連携して、かがわ里海大学を運営し、県民の里海への理解を深めるとともに、かがわの里海づくりを支える人材を育成するための講座を実施する。

## 3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

## 4. 事業内容等

- (1) かがわ里海大学協議会の運営
- (2) 里海を理解するとともにかがわの里海づくりを支える人材を育成するための講座の実施  
(令和7年度実施例)
  - ①里海づくりを始める(楽しむ)スタートアップ
    - ・「磯の生き物観察講座」「ウミホタル観察講座」「里海体験ツアー」など
  - ②里海づくりを深める(学ぶ)ステップアップ
    - ・「川と海のつながり体験講座」「森と海のつながり体験講座」「香川大学生プロデュース講座」など
  - ③里海づくりを極める(活用する)スキルアップ
    - ・「里海ガイド養成講座」「海ごみリーダー養成講座」など

## 令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |        |
|------|----------------------|---------|--------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | (1) みどりの学校運営事業       | 開始年度    | 平成29年度 |
| 担当部署 | 環境森林部森林・林業政策課        | 終了年度    | 令和9年度  |

## 1. 目的及び目標（値）

森林・林業・木材など、みどりに関する講座を「みどりの学校」として運営し、みどりを守り・育てる人材を育成する。

香川県みどりの基本計画（R8～R12）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年※を目標とする。

※H29～R2「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

※R3～R7「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標。

※R8～R12「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

## 2. 概要

どんぐり銀行活動をはじめ、ボランティア団体等による様々な取組みを「みどりの学校」として体系化し、これらの情報を一元的に発信し、みどりづくり活動への参加者数の増加を図るとともに、幅広く県民が森づくり活動に参加できるよう、その内容を多種多様なものとするため、県主導でも各種講座を開催し、みどりづくり活動の指導者などの人材を発掘・育成する。

## 3. 根拠法令等

香川県みどりの基本計画

## 4. 実施内容等

- (1) 「みどりの学校」の運営  
幅広く県民が森づくり活動に参加できるよう、ボランティア団体等による講座を県内各地で74講座実施した。
- (2) 「みどりの学校」の広報  
InstagramやFacebookで講座の紹介を行った。

令和7年度 事業報告書

|      |                       |         |        |
|------|-----------------------|---------|--------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業  | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | (2)かがわ未来へつなぐ環境学習会開催事業 | 開始年度    | 平成29年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課            | 終了年度    | 令和9年度  |

1. 目的及び目標（値）

目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携強化を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

環境分野全般にわたる多種多様な講座を一堂に集め環境学習を行い、多くの県民をかがわ里海大学やみどりの学校など人材育成の場への参加につなげるための行事として、「かがわ未来へつなぐ環境学習会」を開催する。  
「かがわ未来へつなぐ環境学習会」のほか、環境学習にかかる各種事業を実施することで、毎年25,000人程度の参加者を確保していく。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

かがわ未来へつなぐ環境学習会の開催

・対象者

一般県民、県内で環境学習を実施する民間団体、企業等の各主体

・内容

環境分野全般にわたる多種多様な講座を一堂に集め環境学習を行い、多くの県民を「かがわ里海大学」や「みどりの学校」など、人材育成の場への参加や地域づくりにつなげるための行事として、「かがわ未来へつなぐ環境学習会」を開催する。

- ・平成29年度実績 参加者数：2,800人 出展者数：25ブース
- ・平成30年度実績 参加者数：3,300人 出展者数：25ブース
- ・令和元年度実績 参加者数：3,600人 出展者数：26ブース
- ・令和2年度実績 動画視聴者数：4,534人(R3.3.31現在) 動画作成数：14本
- ・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえて検討した結果、来場型イベントの開催を中止
- ・令和4年度実績 参加者数：608人 出展者数：25ブース
- ・令和5年度実績 参加者数：2,128人 出展者数：34ブース
- ・令和6年度実績 参加者数：3,206人 出展者数：30ブース
- ・令和7年度実績 参加者数：1,326人 出展者数：27ブース

令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |        |
|------|----------------------|---------|--------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | (3)環境地域づくり情報発信事業     | 開始年度    | 平成29年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課           | 終了年度    | 令和9年度  |

1. 目的及び目標（値）

目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携強化を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

2. 概要

新聞広告等を活用し、幅広い層の県民への施策の周知と情報発信により、各分野が一体的で効果的な情報発信を行うことで、県民に対して環境に関する知識を啓発し、行動を促すもの。

香川県環境基本条例では、健全で恵み豊かな環境が守られ、かつ、より質が高いものとして将来の世代へ継承されることが基本理念の1つとされており、その実現のためには、地域社会を構成するすべての主体が、それぞれの責務や役割のもとで環境保全活動に積極的に取り組む必要がある。

よって、ひとりでも多くの県民の環境への関心を高め、環境学習に参加しやすい雰囲気をつくることが重要であることから、誰もが気軽に参加できる機会の提供や、効果的な情報発信など、幅広い層の方々に環境への関心を持っていただくための「きっかけづくり」に取り組んだ。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

4. 実施内容等

新聞記事広告の掲載

- ・対象者 一般県民
- ・掲載回数 3回（6月21日、7月19日、10月24日）
- ・内容 県が推進する環境学習の場や、環境活動を実践している活動者、環境学習イベントの紹介を記事下の広告欄に掲載するとともに、香川県や県民の環境保全の取組みに関する特集記事を掲載した。

## 令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |        |
|------|----------------------|---------|--------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | (4) 地域における環境学習推進事業   | 開始年度    | 平成29年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課           | 終了年度    | 令和9年度  |

## 1. 目的及び目標（値）

目的  
環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

目標値  
環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

## 2. 概要

県民が身近な場で気軽に環境学習を行えるよう、市町とも連携して地域における環境学習機会を充実させるほか、省エネルギーや3Rなどの生活に関する環境分野の指導者を育成する。また、学校周辺の川や樹木などを題材に地域の環境を学ぶため、民間団体指導者等を学校等へ派遣し出前講座を実施する。

## 3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

## 4. 実施内容等

- (1) 環境学習講座等の開催
  - ・対象者：一般県民
  - ・開催実績：市町連携 6市町、6講座（延べ参加者数 162名）  
企業等連携 2回（延べ参加者数 93名）
  - ・実施内容：市町や企業等と連携し、希望に沿ったプログラムや講師を派遣した。
- (2) 学校等への出前講座
  - ・対象者：県内の幼稚園、小中学校等
  - ・開催実績：40回（参加者数 1,410名）
  - ・実施内容：体験を伴い環境学習を行う民間団体等のプログラムについて、学校から希望のあったプログラムの実施を当該団体に委託し、講座を開催した。

令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |       |
|------|----------------------|---------|-------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続    |
| 事項名  | (5)「生物多様性普及啓発」事業     | 開始年度    | 令和元年度 |
| 担当部署 | 香川県環境森林部みどり保全課       | 終了年度    | 令和9年度 |

1. 目的及び目標（値）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;目的&gt;<br/>香川の自然の現状について広く普及啓発を行うためには、県内の研究者等の標本を活用し身近な生き物を学べる機会（標本展）や、実際に生き物を見て手に触れながら香川の自然を観察できる環境づくり（フィールド講座）が不可欠である。</p> <p>&lt;目標値&gt;<br/>生物多様性に関する県民の認知度 40%（令和2年度までに）<br/>平成26年度の現状は20%。<br/>※令和3年度以降の目標値は、県環境基本計画により見直し<br/>生物多様性に関する県民の認知度 50%（令和7年度までに）<br/>令和7年度の現状は44.6%</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 概要

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>県内の研究者等が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」を開催するとともに、実際に生き物を見て手に触れながら、香川の自然を親しむフィールド講座を実施し、香川の生き物を知る機会を子供たちに提供した。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

3. 根拠法令等

|                  |
|------------------|
| <p>香川県環境基本計画</p> |
|------------------|

4. 実施内容等

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○「まちかど生き物標本展」<br/>・県内の研究者が収集した鳥や昆虫、陸貝などを、標本や写真を使って紹介し、県内の生き物の展示をとおして、大切な郷土の自然を楽しく学べる機会を提供した。<br/>・開催時期および開催場所：<br/>7月27日（日）サンメッセ香川<br/>9月22日（月）～10月24日（金）飯山総合学習センター<br/>2月3日（火）～2月20日（金）香川県立文書館</p> <p>○「フィールド講座」<br/>・「生き物を見て・触れる」をテーマに、実際に生き物の観察を行うフィールド講座を開催した。<br/>・開催時期およびテーマ（会場、参加者数）<br/>7月13日（日）セミの抜け殻教室（公洲森林公園、23名）<br/>8月24日（日）地衣類の観察会（公洲森林公園、21名）<br/>11月23日（日）里地里山の野鳥観察会（公洲森林公園、24名）</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 令和7年度 事業報告書

| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続    |
|------|----------------------|---------|-------|
| 事項名  | (6) 里海ナビゲーション事業      | 開始年度    | 令和2年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境管理課           | 終了年度    | 令和9年度 |

## 1. 目的及び目標（値）

香川県では、「かがわ『里海』づくりビジョン」に掲げる「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指して、全県域で、県民みんなで、「里海づくり」を推進することを目的にしており、里海づくりの価値を高め、里海に親しむきっかけを作る事業を実施することにより、県民一人ひとりの里海づくりの活動を促進する。

里海について理解を深め、里海づくりをけん引する人材を育成するため、県は香川大学と共同で「かがわ里海大学」を開講しており、県民の里海への関心が高まることに伴い、かがわ里海大学の講座受講者が増加し、結果として修了者数の増加が見込まれる。

|             |              |   |        |
|-------------|--------------|---|--------|
| かがわ里海大学修了者数 | 平成28年度～令和2年度 | 計 | 900人   |
|             | 令和3年度～令和7年度  | 計 | 3,000人 |
|             | 令和8年度～令和9年度  | 計 | 1,270人 |
|             | 総計           | 計 | 5,170人 |

## 2. 概要

県民一人ひとりの里海づくりの活動を促進するためには、「里海」の知名度やイメージを上げ、里海づくりに取り組むことの価値を高めていく必要がある。

そこで、里海に関する絵日記コンテストを実施し、子どもたちを中心に、里海を身近に感じてもらう契機とする。

この取組みにより、さらに多くの県民が里海に関心を持ち、かがわ里海大学の新たな受講（地域の環境保全に関する知識の普及）や、地域での里海づくりの拡大（活動の普及）につながるとともに、既に活動を行う者に対しても動機や意欲を高めることとなるため、様々な活動の活性化が期待できる。

## 3. 根拠法令等

香川県環境基本計画

## 4. 事業内容等

里海づくりの価値を高め、里海に親しむきっかけを作るための事業の実施

○絵日記コンテスト

- ・子どもたちや保護者に里海を身近に感じる契機としてもらえるよう、県内の小学生を対象とした里海に関する「絵日記コンテスト」を開催した。

令和7年度 事業報告書

|      |                  |         |        |
|------|------------------|---------|--------|
| 事業名  | 森とみどりの祭典開催事業     | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | 森とみどりの祭典開催事業     | 開始年度    | 平成30年度 |
| 担当部署 | 香川県環境森林部森林・林業政策課 | 終了年度    | 令和9年度  |

1. 目的及び目標（値）

みどりの良さや大切さを伝え、県民参加の森林づくりを一層推進する。  
香川県みどりの基本計画（R8～R12）の指標である「県民参加の森づくり参加者数」を基に、令和9年度までに「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年※を目標とする。  
※H29～R2「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。  
※R3～R7「県民参加の森づくり参加者数」9,000人/年を目標。  
※R8～R12「県民参加の森づくり参加者数」10,000人/年を目標。

2. 概要

県民参加のみどりづくりを一層推進するため、みどりづくりから林業や森林整備、木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを一般県民対象に開催することにより、緑の少年団等の、みどりづくり活動の情報交換や交流を図るとともに、みどりづくり活動への参加を促すものである。

3. 根拠法令等

香川県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例  
香川県みどりの基本計画

4. 実施内容等

- 森とみどりの祭典の開催
- ①みどりづくり活動発表会  
（内容）緑の少年団による活動発表会  
森づくり、木づかい感謝状贈呈式
  - ②植樹・育樹体験活動の実施  
（内容）緑の少年団等の子供たちによる植樹体験及び間伐等の育樹体験

開催日：10月5日（日曜日）  
開催場所：香川県満濃池森林公園  
参加者数：162名  
対象者：県内の緑の少年団等  
※「緑の少年団」：緑を愛し、緑を守り、育てる心を養うことを目的に活動する少年たちの自主的団体。  
森林やみどりについて観察するほか、その役割や機能について学ぶ学習活動や公園等の緑地帯の清掃活動や植樹・樹木の手入れなど奉仕活動等を行う。

## 令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |        |
|------|----------------------|---------|--------|
| 事業名  | 香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業 | 新規・継続区分 | 継続     |
| 事項名  | 学校における環境学習推進事業       | 開始年度    | 平成29年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課           | 終了年度    | 令和9年度  |

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的

環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進を着実に実行するため、自然環境分野から生活環境分野までの各分野の連携を図り、広く県民に環境学習の場を提供することで、持続可能な社会の構築に向けた一体的な人づくりを進めていく。

## 目標値

環境教育・環境学習参加者数 令和3年度～7年度累計125,000人

## 2. 概要

児童や生徒の環境への関心を高め、将来、主体的に環境に配慮した行動ができるよう、環境に関する授業や課外活動を効率的に進めるための支援を行う。

## 3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画

## 4. 実施内容等

## (1) 環境学習プログラム・教材開発研究

- ・対象者：県内の小中学校教員
- ・実施内容①：学校における環境教育を支援するため、県の環境教育事業の活用を促す教員向け研修を実施した。
- ・実施内容②：平成25年から作成してきた香川県の情報を取り入れた環境学習教材の一部を、より多くの県内小中学生や教員に利用してもらうため、電子書籍化した。

## (2) 環境キャラバン隊派遣

- ・対象者：県内の小中学生
- ・実施内容：学校や地域などにおいて、環境に関する様々な分野にわたる環境学習を支援するため、小中学校からの要請に応じて、県職員による環境キャラバン隊を派遣し、1,692名の児童・生徒が受講した。

## 令和7年度 事業報告書

|      |               |         |       |
|------|---------------|---------|-------|
| 事業名  | 地球温暖化対策事業     | 新規・継続区分 | 継続    |
| 事項名  | (1)ゼロカーボン促進事業 | 開始年度    | 令和4年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課    | 終了年度    | 令和9年度 |

## 1. 目的及び目標（値）

## &lt;目的&gt;

香川県では、令和3年2月に2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目標に掲げる表明を行い、今後さらに地球温暖化対策を加速化させていく必要がある。こうした中、脱炭素社会の実現に向けた県民の意識醸成を促進するため、パンフレット等の広報媒体を通して広く県民に地球温暖化対策についての情報を提供することで、県民一人ひとりの脱炭素社会の実現に向けた取組みを促進する。

## &lt;目標値&gt;

ゼロカーボンに関する県民の認知度 90%（令和9年度までに）

## 2. 概要

県民一人ひとりの脱炭素社会の実現に向けた取組みを促進するためには、地球温暖化対策に取り組むことの意識を高めていく必要がある。

そこで、パンフレット等の広報媒体を通して「地球温暖化対策の現状」から「県民が行える具体的な取組み内容」など幅広く知る機会として、情報を提供し、脱炭素社会の実現に向けた県民の意識を促進する。

## 3. 根拠法令等

香川県地球温暖化対策推進計画（R3～R7）  
（基本目標：脱炭素社会の実現に向けて取り組む地球環境の保全）

## 4. 実施内容等

脱炭素社会の実現に向けた県民の意識を促進するための広報媒体の作成

## (1) チラシ

県内の住宅におけるZEHや断熱改修の普及を促進し、省エネルギー行動の促進や再生可能エネルギーの導入など、脱炭素社会に向けた取組みを進めていく。

【かがわスマートハウス促進事業補助金】のチラシを作成した。

## (2) 住宅における脱炭素の推進に関する新聞広告

四国新聞は、毎年度環境に関する特集記事を掲載しており、令和7年10月の住宅の脱炭素に関する特集に合わせて、下段に県の実施している事業に関する広告を掲載した。

令和7年度 事業報告書

|      |                      |         |       |
|------|----------------------|---------|-------|
| 事業名  | 地球温暖化対策事業            | 新規・継続区分 | 継続    |
| 事項名  | (2)香川県気候変動適応センター整備事業 | 開始年度    | 令和3年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課           | 終了年度    | 令和9年度 |

1. 目的及び目標（値）

<目的>  
地域の気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、分析及び提供を行うことで、県民・事業者等の気候変動適応の取組みを推進するため、地域気候変動適応センターを整備し、情報基盤としての機能を強化する。

<目標値>  
気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の提供数  
センターホームページにおいて情報提供する項目数：令和7年度までに20項目を目標とする。

2. 概要

地域の気候変動適応に関する情報ネットワークの拠点として、令和元年10月に香川県気候変動適応センターを設置し、気候変動影響等の情報収集を行ってきたが、地域特有の情報や研究が少ないことから、センター自らが測定等を行いデータを収集することで、地域特有の気候変動影響等を把握し、情報を提供することで県民・事業者がより効果的な気候変動適応策に取り組めるよう事業を実施する。

3. 根拠法令等

- ・気候変動適応法
- ・気候変動適応計画
- ・香川県地球温暖化対策推進計画

4. 実施内容等

(1) 地域気候変動適応センターの運営

(2) 地域の気候変動影響に関する情報整備事業  
地域の気候変動による影響及び将来予測される影響に関する情報を収集・整理し、県民・事業者へ提供した。県民・事業者への影響が既に現れている分野のうち、本県に特化した情報が少ない分野について、センターが自ら測定等を行い、情報整備を行った。（例：暑さ指数（WBGT）の測定 等）  
近年、全国的に熱中症による被害が増加しており、地球温暖化に伴う今後のリスク拡大に備えるため「気候変動適応法」が改正され（令和6年春全面施行）、気候変動適応の一分野である熱中症対策のより一層の強化が重要となる。本県においても熱中症救急搬送者数は増加傾向にあるとともに、その半数以上は高齢者であり、住居における発生が大半を占めることから、高齢者の住居における暑熱状況を観測することでリスク調査を実施した。また、熱中症弱者である高齢者や子どもへの予防行動の重要性を情報発信するための啓発資料を作成した。

## 令和7年度 事業報告書

|      |                        |         |       |
|------|------------------------|---------|-------|
| 事業名  | 地球温暖化対策事業              | 新規・継続区分 | 継続    |
| 事項名  | (3)初期費用ゼロ太陽光発電設備導入促進事業 | 開始年度    | 令和6年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課             | 終了年度    | 令和7年度 |

## 1. 目的及び目標（値）

## &lt;目的&gt;

住宅用太陽光発電設備の設置については、依然として初期費用が高額で、設置の意思はあるがなかなか実行できないという方も多い。そこで、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて、初期費用なしで太陽光発電設備等の設置が可能なPPAやリース等を扱う事業者を県が登録し、初期費用ゼロ太陽光発電設備の情報発信を行い、太陽光発電設備等の設置を後押しすることで、県内の太陽光発電設備の一層の導入促進を図る。

## &lt;目標&gt;

太陽光発電システム設置容量：1,240,000kW（R8.3末） ※R7.3末 973,222kW

## 2. 概要

県内の再生可能エネルギー導入量の増加のためには、太陽光発電設備の導入を加速化させることが必要であることから、そのための一つのツールとして、チラシ・SNS等の広報媒体を活用して、「初期費用ゼロ太陽光発電設備」や県が実施する「事業プラン登録制度」を県民・事業者へ広く発信するものである。

## 3. 根拠法令等

香川県地球温暖化対策推進計画

## 4. 実施内容等

「初期費用ゼロ太陽光発電設備」の導入促進に向けた広報動画・広告画像を作成し、情報発信を行った。

- ・事業者向け広報動画の作成  
初期費用ゼロ太陽光発電設備の仕組みや県に事業プラン等について紹介する事業者向け動画DVDを作成した。また、動画を香川県のYouTubeアカウントで公開した。
- ・県民向け広告動画の作成  
県民向けの短編動画を2本作製し、YouTube、Instagramに広告を出稿した。  
（広告配信期間：令和8年1月19日～令和8年2月17日）
- ・広告画像の作成  
広告画像を作成し、JR高松駅のデジタルサイネージに掲載し周知をおこなった。また、今後の情報発信に活用するため、SNS掲載用の広告画像を作成した。  
（デジタルサイネージ掲載期間：令和8年1月12日～令和8年2月8日）

## 令和 7 年度 事業報告書

|      |             |         |         |
|------|-------------|---------|---------|
| 事業名  | 地球温暖化対策事業   | 新規・継続区分 | 新規      |
| 事項名  | 省エネ県民運動促進事業 | 開始年度    | 令和 7 年度 |
| 担当部署 | 環境森林部環境政策課  | 終了年度    | 令和 9 年度 |

## 1. 目的及び目標（値）

<目的>  
地球温暖化防止の観点から、各家庭、各企業・事業所、各団体など県民全体の省エネルギー行動に取り組む意識を醸成する。

<目標>  
「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度 90%（令和 9 年度）

## 2. 概要

地球温暖化防止の観点から、各家庭、各企業・事業所、各団体など県民全体の省エネルギー行動に取り組む意識を醸成し、省エネルギー行動が県民全体の日常生活・事業行動のなかに自然に組み込まれることを目指して、関係機関と連携して、省エネ県民運動を展開する。

## 3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、香川県環境基本計画、香川県地球温暖化対策推進計画

## 4. 実施内容等

- ①気候変動リーフレットの作成  
・気候変動に関するリーフレットを作成し、県内の小学 5 年生や、環境イベント参加者等に配布することにより、県民に対する地球温暖化対策に関する啓発活動を実施した。
- ②地球温暖化対策に関する啓発グッズの作成  
・環境イベント出展時などの際に参加者に配布し、情報発信等を行うための啓発資材を作成した。
- ③かがわ省エネ節電所の運用  
・家庭等での省エネ行動を、CO2削減量として「見える化」するサイト「かがわ省エネ節電所」を運用し、県民に対し省エネの取組みや、脱炭素行動の意識付けにかかる普及啓発を実施した。